

2面 新校舎完成予想図・狩野校長・白旗事務局長
 3面 <母校通信>
 県総体速報・各種コンクール参加報告
 4-5面 34回生座談会
 「希望あふれる未来を、同期狩野校長にエール！」
 6面 同窓生トピックス 山内ジョージさん 関口怜子さん
 7面 活躍する在仙同窓生 高橋裕一さん
 8面 各種報告とご案内他

佐沼高等学校在仙同窓会便り

ひろがり

No22

発行日：2023. 7. 25

発行者：佐高在仙同窓会広報誌委員会

< 4年ぶりに同窓会総会を開催します >

令和5年度 佐高在仙同窓会総会

☆とき 9月2日(土)16:00~18:30(総会・懇親会)

☆ところ パレスへいあん(青葉区本町1-2-2)

☆幹事 高34回生(昭和57年卒)

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

なお、詳細と参加申し込みは同封の案内状をご参照ください。

四年ぶりの同窓会総会の開催にむけて

在仙同窓会 副会長

五十嵐 信さん(高27回生)



会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私こと、昨年8月の常任幹事会において次期会長にご推挙をいただきました。本件を含め、新役員案につきましては今年度総会の議案としてお諮りいたしますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、足元の社会情勢をみますと、ウクライナ問題の長期化や物価高、海外の急激な金利引き上げに伴う金融環境の不安定化など、厳しい面もありますが、一方で新型コロナウイルスの五類移行に伴う活動制限の緩和等により、消費需要やイ

母校同窓会会長の「あいさつ」

佐沼高等学校同窓会 会長

氏家 良典さん(高20回生)



在仙同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本部同窓会総会は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、残念ながら三年開催を見送りましたが、今年8月5日に四年振りに開催すべく準備中です。懇親ゴルフコンペも9月28日、松島チサンGCにて開催予定です。

ンバンド需要が回復しつつあるほか、当仙台園においては各種プロジェクトの進展等もあり、経済活動は徐々に上向いてくるものと見込まれております。こうした状況を踏まえ、今年度の同窓会総会は感染症の動向等に留意しつつ開催に向けて準備を進めております。4年ぶりの開催となりますので、多くの皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

在仙同窓会は来年8月をもって創立40周年を迎えますが、これまで当会の発展にご尽力いただいた歴代役員、会員の皆様に感謝を申し上げますとともに、今後多くの同窓生が集い、相互の親睦と有意義な情報交換の場となるよう、皆様方のご協力をいただきながら、役員一同取り組んでまいります。

結びといたしますが、会員の皆様の今後の益々のご健勝と母校のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

今、母校は新校舎建設に向け旧校舎解体の最中で槌音が我が家まで聞こえてきます。

今年の開校記念講話は及川康平氏(高17回)より「世界最強のIT企業に働く人の働き方」というテーマで講演を頂き、在校生は熱心に聴き入っていました。

訃報ですが前本部同窓会会長の高橋勝利氏(高9回)が昨年11月に逝去されました。氏は永き会長として同窓会発展にご尽力いただきました。ご冥福をお祈り申し上げます。

結びに、在仙同窓会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を重ねて祈念申し上げます。

宮城県佐沼高等学校 新校舎完成予想図 [令和7年完成予定]



正門をに入って校舎北側方向を望む



北側 正門上空より望む



中庭SAKOひろばより東側を望む



南東側 上空より望む

いんがしに よき学び舎あり

令和7年3月に新校舎が完成予定です。

教職員一丸で 徳性の高い人材の育成を

佐沼高等学校長

狩野 秀明さん (高34回生)



佐高在仙同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動の発展のためにご支援・協力を賜り厚く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの収束が見えないまま、今年5月より感染症法上の扱いが5類に移行されました。学校としてまだまだ油断

ができない状況が続いており、今後も感染症への警戒を続け、コロナ禍前の教育活動に戻しつつも「ウィズコロナ」の考え方で、新しい取り組みも加えながら教育活動を進めて参ります。

今年度の在籍生徒数は全日制671名、定時制21名の総計692名となり、「至誠・献身・窮理・力行」の校訓のもと、文武両道の校是を引き継ぎ、生徒たちは精一杯勉学と部活動に励み、意欲的に高校生活を送っております。

約50年ぶりの校舎等改築工事ですが、一昨年の6月に第一体育館、昨年10月にテニスコート四面が完成しました。校舎のほうは昨年8月にプレハブ3階建ての仮設校舎へ引越して仮設校舎での教育活動が開始され、現在、旧校舎（鉄筋四

階建て）の解体工事が行われており、令和7年度の新校舎完成に向けて、その建設工事がまもなく開始される予定です。

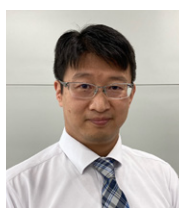
今後も同窓生皆様のお力をお借りしながら、二十一世紀の国際社会を生き抜くことができる英知と健全な心身を持った徳性の高い人材の育成を、教職員一丸となつて進めて参りますので、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、佐高在仙同窓会皆様様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

新事務局長「ごあいさつ

同窓会事務局長

白旗 崇敬さん (高43回生)



前事務局長・佐藤和典先輩の後を受けて事務局長を仰せつかりました、高43回生・白旗

崇敬と申します。令和元年度母高へ着任し、昨年度より総務部を担当しております。担当科目は日本史、部活動は剣道部を指導しております。伝統ある同窓会の事務局を担当いたしますことに身の引き締まる思いであります。各界で活躍されている諸先輩方と交流できますことを楽しみにしております。何卒ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

母・校・通・信

本年も5月下旬から6月にかけて、宮城県高等学校総合体育大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行にともない、令和元年以来となる、観客制限などをほぼ行わない通常開催となりました。今年の3年生は、中学3年時の中総体が中止となった学年でしたが、その分の思いも込めて精一杯戦ってきました。各部の主な結果について、各種大会等とあわせてお知らせします。

●県総体結果

- 【ボート部】
 - ・女子総合第 2位
 - ・女子舵手付きクオドルプル A1位 (東北大会出場、3位)
 - 同 B2位 (東北大会出場)
 - ・女子シングルスカル (インターハイ出場)
 - ・女子ダブルスカル 2位 (東北大会出場、5位)
 - ・女子ダブルスカル 2位 (東北大会出場、8位)
 - ・男子ダブルスカル 3位 (東北大会出場)
- 【陸上競技部】
 - ・男子棒高跳 2位、3位、5位 (東北大会出場)
 - ・女子棒高跳 3位 (東北大会出場)

- ・男子走幅跳6位 (東北大会出場)
- ・男子3000m障害 4位 (東北大会出場)

【ラグビー部】

- ・2位 (東北大会出場)
- 【ソフトテニス部】

- ・男子団体 ベスト8
- ・女子団体 1回戦敗退
- 【バドミントン部】

- ・男子団体 3回戦敗退 (ベスト16)
- ・女子団体 1回戦敗退

【柔道部】

- ・男子団体 予選リーグ通過 (ベスト16)

【剣道部】

- ・男子団体 予選リーグ敗退 (1勝1敗)
- ・女子団体 予選リーグ敗退 (1勝1敗)

【卓球部】

- ・男子団体 2回戦敗退
- ・女子団体 3回戦敗退

【バスケットボール部】

- ・男子 1回戦敗退
- ・女子 2回戦敗退

【バレー部】

- ・男子 1回戦敗退
- ・女子 1回戦敗退

【ソフトボール部】

- ・1回戦敗退

【サッカー部】

- ・2回戦敗退
- 【ハンドボール部】
- ・1回戦敗退

【水泳部】

- ・男子50m自由形
- ・男子100m自由形
- ・男子200m自由形
- ・男子1000m平泳ぎ
- ・男子2000m平泳ぎ
- ・男子1000m背泳ぎ
- ・男子2000m個人メドレー
- ・男子4×100mフリーリレー
- ・女子50m自由形 以上予選敗退

●各種大会・コンクール結果

美しい色使いで

今はなき旧一体の入口を描いた作品が、河北美術展に入選いたしました。

【美術部】第84回河北美術展

- ・入選 千葉美沙希 (3年・石越中出身)

「消えゆく空間」



※一昨年取り壊された旧第一体育館の入口を描いた作品です

- 【野球部】春季県大会
- ・1回戦敗退

●第47回全国高等学校総合文化祭

(鹿児島市・7/29～8/4)
美術部出展作品

- ・五十嵐望美 (3年・中田中出身)

「Rabbit's Astronomical Institute」



なお、佐高生の活動については、本校HPのほか「まちナビ編集部」様によりYouTube動画でも紹介されております (ボート部、吹奏楽部、美術部、剣道部、ラグビー部、総合的な探究の時間発表会、台湾交流会など)。ぜひご覧ください。

同窓会事務局長

白旗崇敬 (高43回生)

座・談・会 34回生

希望あふれる未来を、 同期狩野校長にエール！

開催を予定していた昨年の総会もコロナの感染再拡大で中止となりました。4年ぶりの今年は5類変更もあり無事開催を願うばかりです。

5月16日、今年の総会の当番幹事34回生4名が集まり、近況報告や高校時代の思い出、母校、郷土への思いを語ってもらいました。



自己紹介と近況報告をお願いします。

(佐々木 洋) 登米中出身です。七十七銀行に勤務しています。趣味のゴルフは少々控えています。愛犬のトイプードルの世話をすることと孫に会うことが最近の楽しみです。

(赤松 澄雄) 東和中出身です。宮城県警に勤務しています。私も孫が2人います。孫に会うのが一番の楽しみです。趣味は海釣りですが、震災以降は足が遠のいてしまっている状況です。

(菅原 裕光) 佐沼中出身です。不二サッシ東北に勤務しています。当初は20年ほど首都圏で勤務をしていましたが、40歳を手前にして戻ってきました。皆さんと同じく今年で定年を迎えますが、第二の人生は好きなことをやっていこうと色々模索中です。趣味はゴルフで、スポーツ観戦も好きで楽天の試合も年8回くらいは観に行っています。

(千葉 由香) 東和中出身で、赤松君とは幼稚園から一緒です。荒蝦夷という小さな出版社をやっています。原稿執筆もしていて、今は河北新報夕刊に「あの木に会いに行く」というエッセーを連載中です。他の出版社から本も1冊出しました。この3月には仙台フォーラスに「BOOKSPACEあらえみし」を出店して、新刊や古本の販売や本に関するイベントの開催をしています。実家が本屋だったので、まさか自分も本屋になるとは思っていませんでした。

高校時代の思い出などを聞かせてください。

(佐々木) 私は野球部でした。校舎から離れた第2グラウンドまで上級生より早く行かなければならないので大変でした。また、3年生のクラス旅行で気仙沼の大島に行きましたが、先生が自らバスを運転して連れて行ってくれて、一緒になっ

て羽目を外したことは一番の思い出ですね。ここで詳しくは言えませんが、先生方から色々温かい？ご指導をいただいたことも今となってはい



佐々木 洋さん

い思い出です。(笑)

(赤松) 私はサッカー部でしたが、隣の野球部からよく球が飛んできていましたね。忘れもしないのは、真夏の予選での電子高(現工大高)との試合です。前半を終わって0-3で負けていて、ハーフタイムに先生から「走り足りない」とのご指導をいただき、ハーフタイム中ずつと走らされ、後半はさらに4点取られて、結果的に0-7で負けてしまいました。試合終了後もさらに走らされました。その甲斐あってか3年生の時には県大会のベスト8まで進むことができました。最後負けた試合のグラウンドは、仙台高校だったのですが、子供二人がその高校に通うことになるとは思ってもみませんでした。

(菅原) 私は入学前に、とある奴と一緒にバスケット部の練習を見に行こうと誘われて、そのまま巻き込まれる形で入部することになりました。中学からバスケットをやっていた嫌いではなかったのですが、他のスポーツもやってみようという思いもありました。新しい競技だと皆一からのスタートなので、ハンドボール等、中学に無くて高校にあるような部活に興味がありました。結局バスケットに入部しました。バスケットは身長が高い人が有利で、高くない人は何か秀でたものが無いと思うようなプレーがしにくいスポーツです。

最終的には3年
間在籍しました
が、当時は県大
会でもなかなか
勝つことが難し
い状況でした。

(千葉) 入学し
てすぐ剣道部に
入ったものの、稽古が辛くてやめたいと
毎日思っていました。ある日、「やっぱ
り部活やめたい！」という友だちと教室
でグズグズしてたら、たまたまそこに来
た担任の千葉節子先生から「数ある中か
らその部活を選んだということは、それ
自体が大きなチャンス。せっかく興味を
持ったのに、何もわからないうちにやめ
るのはもったいない」と言われました。
じゃあもう少しやってみようと思って、
さぼりながらも3年間続けて二段も取り
ました。この40年、節子先生の言葉は折
に触れて思い出すんです。剣道の公式戦
には数えるくらいしか出た記憶がないけ
ど(笑)。

母校や郷土への関わりや想いな どを聞かせてください。

(佐々木) 同級生であり友人である狩野
秀明君が母校の校長先生となったことは
とても喜ばしく、同級生として誇らしく



菅原 裕光さん

感じています。

(千葉) 新校舎建築のプロジェクトを狩
野君が進めているということも感慨深い
ことですね。

(赤松) 最近でいうと野球部が県大会の
決勝まで進んだ利府高校との試合は盛り
上がったね。

(菅原) あの時強豪校が早々に負けた
からチャンスだったんだけどね。

(赤松) 昨年は仙台育英が夏の甲子園で
全国優勝しました。いつか佐沼高校にも
必ずチャンスがくるはずです。後輩達に
は、希望を持って頑張ってもらいたいです
ね。

(千葉) 原稿を書くためにいろいろ調べ
ていると、高校時代は気づかなかった文
化遺産が地元にはたくさんあることに気
づきます。今思えば校庭のプラタナスの
木の辺りも素敵な場所でした。だいぶ切
られたのが残念です。

(佐々木) 七十七銀行内には、現職中心
の佐高会がありますが、その佐高会の立
上げ前から、佐沼高校出身者で発足して
いた会があります。その会の名

称は地元の鹿ヶ
城に由来して、
「鹿城会(ろく
じょうかい)」
といます。



千葉 由香さん

(千葉) クラス対抗の「佐高杯」は楽し
かったな。先生チームも一緒に球技大
会・陸上大会・水泳大会の総合点で競う
壮大な運動会。

(佐々木) 学校行事でいうと、文化祭で
「どん(米菓子)」を売って、儲けたお
金で寿司屋に行ったのはいい思い出す
ね。

(赤松) 地元だと小さい頃に遊んだ三滝
堂に立派な道の駅が出来て、結構いいも
のを売ってますし、中田町の愛菜館も地
元の野菜とかが良いものをびっくりする
くらい安く売っていますね。

(佐々木) 旧体(旧体育館)は木造で味
がありますよね。よくあそこで昼食を食
べていた思い出があります。

(千葉) もうその旧体はなくて、あの場
所には新しい体育館が建っていますよ。
そして当時の新体(新体育館)が今は旧
体と呼ばれているそうです。昨年、私た
ちが使った校舎が解体される前に一度見
に来たらと狩野校長に声をかけてもらっ
たけれど、タイミングが合わず行けなく
て残念でした。

(佐々木) 仕事を通じてお客様と接して
いる中で佐高の先輩や後輩と会うことは
非常に嬉しいですね。

最後に、母校や後輩にメッセー ジをお願いします。

(佐々木) 同級
生代表である狩
野校長を周りか
ら応援していき
たいと思ってい
ます。狩野君に
はぜひ現場でか
わいい後輩達を
育ててほしいと思います。

(赤松) 最近は母校から県警への就職者
数が減少してきているので、是非よろし
くお願いします。

(菅原) 今は、我々の時代と違って様々
な情報がたくさん入ってくる反面で、そ
の内容をしつかりと見極めていかないと
いけない時代になっていると思いますの
で、確かなものの方について教育の中
では是非伝えてほしいと思います
ね。

(千葉) 10代は伸びしろや可能性がたっ
ぷりある世代。勉強や部活はもちろん、
本を読んだり新しいことに挑戦したりす
る好奇心を育ててほしいです。

(事務局) 終始和やかな座談会でした。
母校へ思い、何よりも同期の狩野校長先
生への期待を込めた熱いエールが印象的
でした。

34回生の皆さん、総会幹事もよろしく
お願いします。



赤松 澄雄さん

山内ジョージさん(高43回生)
「絵文字の世界」が開催されました。



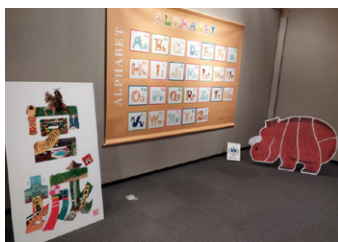
初日に駆けつけた在仙佐高同窓会の後輩たちと山内ジョージ氏(中央左) 右はパリ在住の造形作家サトルサトウ氏

昨年10月1日〜12月11日まで仙台文学館企画展示室で母校12回生山内ジョージさんの特別展が開催されました。漫画家・イラストレーターの山内ジョージさんは旧満州から引き揚げ、父の郷里・登米市で育ちました。手塚治虫に憧れ、石ノ森章太郎(母校の大先輩)に出会った少年時代や、マンガの聖地「トキワ荘」で漫画家として研鑽を重ねた青春時代を経て、イラストレーションに機運を見出し、動物を文字になぞらえた「動物文字絵」を生み出しました。文字絵は、カンボジアの女性たちの識字率向上にも貢献しました。80歳を超えた今も創作活動を通して、あたたかな交流の輪を広げ続けています。

展示では、世界で愛される「動物文字絵」の原画のほか、中学3年生の時に「河北新報」に掲載された4コママンガや母校から写真提供してもらった当時の

佐沼高校校舎、章太郎のアシスタントとして暮らした「トキワ荘」時代の貴重な資料などから、ジョージさんの歩みをたどり、ユーモアあふれる作品世界が紹介されました。

(略歴) 940年、中国・大連生まれ。動物を愛し、ユニークな動物文字絵を創作。1989年電通アートギャラリーにて「ABCキャッツとひらがなニヤール」開催。同年横浜博覧会「ねこ祭」に出品、企画参加。1990年東映映画「公園通りの猫たち」の猫文字ポスター制作や教科書にも文字絵が採用。2015年パリの日本文化会館にて「文字絵展」が開催されるなど幅広く活躍している。「絵カナ?字カナ?」(偕成社)、「動物どうぶつABC」(ほるぷ社)、「どうぶつあいうえお」(PHP研究所)、「猫のための漢字絵本」(愛育社)など文字絵本多数。平成26年度宮城県芸術選奨(メディア芸術)受賞。東南アジア文化支援プロジェクト事務局長。



ひとりひとつのいのちをみつめて

創造表現空間「ビーアイ」

36年の歴史に幕

代表 関口怜子さん
(高16回生)

荷物の整理中に出てきた
36年前の写真を見ながら、
「痩せてる〜!」と
ニコニコの関口さん。



2歳から大人までを対象とした創造表現空間「ハート&アート空間ビーアイ」が、今年2月いっぱいまで36年の歴史に幕を下ろしました。代表の関口怜子さん(77)は佐沼高校16回生です。「ビーアイBe I」とは、自分であること。専門学校などで美術を教えていた関口さんが1987年に青葉区立町に設立し、「どこでもビーアイ、誰でもビーアイ、いつでもビーアイ」と、表現力や主体性、創造力などを育む活動が続けてきました。すぐそばにある西公園や広瀬川の河川敷も町並みも、全てが表現空間。絵画や工作、料理や音楽鑑賞、野外教室などユニークな取り組みが評判で、親の育児相談にも優しく応じてきました。

「私たちはそれぞれの個性を引き出す手伝い役。ひとりひとりの成長や変化を目の当たりにし、毎日が新鮮だった」「子どもたちから大切なことをたくさん教わった。長く続けられ、感謝したい」と仰る関口さん。自分らしさを育てる場をつくり続けた36年の活動、本当におつかれさまでした。

活躍する在仙同窓生

地域にあった医療を

医療法人慈裕会

ゆうファミリークリニック理事長

(ゆうファミリークリニック院長)

高橋 裕一さん(高30回生)

「裕一くんが登米に病院を出すらしいよ」と教えてくれたのは、今年88歳になった我が母親でした。実は高橋裕一さんのお母さまと私の母とは親友同士。小さい頃に「自宅に遊びに行つたこともあつたようですが、年も離れていきますし幼かつたので何も覚えておらず、物心つてからの再会は、在仙佐高同窓会総会の席。情報だけは色々聞いていましたから、とても懐かしくご挨拶をさせて頂きました。

そんな裕一さんが故郷登米町に医院を開設するとの知らせは、私の故郷愛を刺激する嬉しいもの。早速開業(5月10日)したばかりの診療所を訪ねました。インタビュー：在仙佐高会副会長 渡辺 祥子

(高36回生/フリーアナウンサー)



中学時代に見た難病をテーマにした映画のインパクトが強く、「自分も誰かの役に立ちたい」と医者を目指したという高橋裕一さん(登米診療所の診療室にて)

インタビュー

(渡辺) このたびは開業おめでとうございませう。今どんなお気持ちでしょうか？

(高橋) 実は医者として独立した時から、いつかは故郷で開業したいと思つていました。ですからようやくここまでできたという感じです。少しずつ町の皆さんに浸透していければと思つています。

(渡辺) 利府のゆうファミリークリニックとの掛け持ちは大変ではないでしょうか？

(高橋) そうですね。でも利府も登米も自分がない時は専門の先生が来てくれますから、役割を分担して何とかやっています。月曜から水曜が利府で、木曜から土曜が登米のペースです。

(渡辺) そこまで大変な思いをしてでも開業した、その根底にあるものは何なのでしょうか？

(高橋) 私が専門とするリウマチ、膠原病の専門医は地方にはなかなかいないんです。仙台まで行かなければならず大変だという声もよく聞いていて、何とか貢献できないかと思つていました。これまではタイミングが合いませんでしたが、利府に開業して20年。家庭の方も子どもたちも成人して自由になった今、このタ

イミングでやらなければ後悔すると思つてました。

(渡辺) 今に活かされていると思う、子ども時代の経験などはありますか？

(高橋) 自由奔放に育てられ、勉強をしなければならぬという記憶はありません。でも、メリハリはしっかりと



開業したばかりの登米(とよま)診療所(寺池桜小路)前で高橋さん(左)と渡辺副会長

けさせられました。遊ぶときは遊ぶ、勉強する時はする、というように。今でも切り替えが上手くいくのはその時のしつけのおかげかもしれません。

(渡辺) 佐沼高校での思い出は？

(高橋) 自然科学部の地学班で、鍾乳洞探検など洞窟によく行っていましたね。米谷の東陽寺にも人が入れる鍾乳洞がありました。楽しかった思い出です。あとは…医者になる目標を持っていましたから勉強ばかりしていましたね。東大を目指すような優秀な友人がいたおかげで、

勉強法を参考にするなど大いに刺激を受けました。

(渡辺) ここからどのようなひろがりをお考えですか？

(高橋) せっかく故郷に開業したので、この地域のニーズに合った医療を見つけてやっていきたいと思つています。例えば高齢の方は、ここまで来るにも誰かに送ってもらわなければなりません。ですから外来だけではなく巡回診療で、「今日はどこどこ集会所に行きます」と告知をしてそこに巡回車で行つて診療する、という絵を描いています。往診でも良いですが、そうなるのと一対一ですから、ひとりでも多くの人を診ることが出来る仕組みを作っていきたい…。そこまでできたら夢が完了かな、と思つています。

(渡辺) これからも、地域の皆さんの笑顔につながる取り組みを期待しています。ありがとうございます。



モダンな院内

常任幹事会・期別幹事会報告

4年ぶりの 総会開催決定

在仙同窓会の常任幹事会が5月15日に開催され、4年ぶりの総会開催が決定されました。会議では羽生会長が欠席の為、五十嵐副会長から「同窓会の活動にご理解とご支援を賜り、協力に對し心から感謝する」と挨拶があり、審議に入りました。

議題では、「令和4年度事業報告・決算報告」、「令和5年度事業計画・予算(案)」が承認されました。続いて、本年度総会開催について審議され、4年ぶりに総会が開催される事が決定されました。

続く、役員改選については、昨年の常任幹事会・期別幹事会で次期会長に五十嵐信副会長(高27回生)が推薦されている事を、改めて確認しました。

また、6月12日には、期別幹事会が開催され、五十嵐副会長から「総会が4年ぶりに開催される事を喜びに、多くの参加者を募りましょう」と挨拶があり、常任幹事会での決議事項等について報告後、いずれも承認されました。続いて、広報委員から「令和5年度広報誌作成について」、事務局から「今後のスケジュールおよび役割分担等について」説明が行われました。その後、若手期別幹事の推薦や会員の増加、同窓生の総会への参加促

進などに関して意見交換をしました。

令和5年度新役員(案)

顧問	高橋 孝昌	高11回生
同	羽生 正弘	高18回生
会長	五十嵐 信	高27回生
副会長	渡邊 政明	高29回生
同	日下 敦	高30回生
同	渡辺 祥子	高36回生
同	佐藤 新光	高25回生
同	佐々木鉄男	高25回生
同	佐藤 則夫	高27回生
同	菅原 誠	高27回生
同	岡本 智悦	高30回生
同	佐々木良泰	高31回生
同	金野 陽一	高37回生
同	名生伊智郎	高40回生
同	菅原 好信	高41回生
同	大井川貴彦	高42回生
同	西條 佳行	高24回生
同	五十嵐信一	高32回生
同	小野寺良太	高56回生
常任幹事	佐藤 新光	高25回生
同	佐々木鉄男	高25回生
同	佐藤 則夫	高27回生
同	菅原 誠	高27回生
同	岡本 智悦	高30回生
同	佐々木良泰	高31回生
同	金野 陽一	高37回生
同	名生伊智郎	高40回生
同	菅原 好信	高41回生
同	大井川貴彦	高42回生
同	西條 佳行	高24回生
同	五十嵐信一	高32回生
同	小野寺良太	高56回生
監事	菅原 誠	高27回生
同	岡本 智悦	高30回生
同	佐々木良泰	高31回生
同	金野 陽一	高37回生
同	名生伊智郎	高40回生
同	菅原 好信	高41回生
同	大井川貴彦	高42回生
同	西條 佳行	高24回生
同	五十嵐信一	高32回生
同	小野寺良太	高56回生
監事	菅原 誠	高27回生
同	岡本 智悦	高30回生
同	佐々木良泰	高31回生
同	金野 陽一	高37回生
同	名生伊智郎	高40回生
同	菅原 好信	高41回生
同	大井川貴彦	高42回生
同	西條 佳行	高24回生
同	五十嵐信一	高32回生
同	小野寺良太	高56回生
監事	菅原 誠	高27回生
同	岡本 智悦	高30回生
同	佐々木良泰	高31回生
同	金野 陽一	高37回生
同	名生伊智郎	高40回生
同	菅原 好信	高41回生
同	大井川貴彦	高42回生
同	西條 佳行	高24回生
同	五十嵐信一	高32回生
同	小野寺良太	高56回生
監事	菅原 誠	高27回生
同	岡本 智悦	高30回生
同	佐々木良泰	高31回生
同	金野 陽一	高37回生
同	名生伊智郎	高40回生
同	菅原 好信	高41回生
同	大井川貴彦	高42回生
同	西條 佳行	高24回生
同	五十嵐信一	高32回生
同	小野寺良太	高56回生
監事	菅原 誠	高27回生
同	岡本 智悦	高30回生
同	佐々木良泰	高31回生
同	金野 陽一	高37回生
同	名生伊智郎	高40回生
同	菅原 好信	高41回生
同	大井川貴彦	高42回生
同	西條 佳行	高24回生
同	五十嵐信一	高32回生
同	小野寺良太	高56回生

◆佐沼高校同窓会

第5回懇親ゴルフコンペ開催

第5回佐沼高校懇親ゴルフコンペは令和4年9月29日(木)杜の都ゴルフ倶楽部で総勢74名が参加して開催されました。在仙同窓会からも多くの方が参加して、旧交を温めゴルフを満喫したようです。

優勝は菅野尚子さん(高28回生)でした。今年も在仙同窓会単独開催は行わずに、本校同窓会懇親ゴルフコンペに参加したいと思えます。

第6回懇親ゴルフコンペは、令和5年9月28日(木)松島チサンゴルフ倶楽部で開催を予定しています。皆さんのご参加をお待ちしています。

年会費納入のお願い

在仙同窓会の活動は在仙同窓生の皆さんの年会費で運営しております。会員皆様へのご案内の郵送料、広報誌ひろがりの制作と印刷代、その他用紙文具通信費などを年会費から支出しております。

まことに恐縮ですが、1人2000円の会費納入を、今年もよろしくお願ひ申し上げます。(在仙同窓会事務局)

◆情報をおまちしています

お知らせの同級生の活動や、活躍している情報(同期会、趣味、サークル、イベント、著作等の活動等なんでも)がありましたら、ぜひ事務局へご連絡をお願いします。在仙同窓会事務局/榎ホットハウス内(担当・岡本) 電話(215) 7787

◆編集後記

今回初めて会報の編集に携わらせていただき新しい発見ばかりの数ヶ月でした。卒業以来の母校訪問では、コロナ禍の仮設校舎ではありましたが、生徒達の声や生活音に凡そ半世紀が一瞬にして蘇ったような錯覚を覚えました。編集や取材を通じて同窓の方々の活躍や偉業と触れることが出来たことも貴重な体験となりました。総会後は新体制のスタートとなります。時代の変化も踏まえつつ、同窓の輪がますます広がる持続可能な会にしていきますよう。皆さまご協力ありがとうございます。ごさいます。

編集委員長・菅原 誠(高27回生)



ホットハウス

「住み替えて始まる素敵生活」
不動産のことならホットハウスへ!

代表取締役 日下 敦(高30回生)
仙台市青葉区本町1丁目5-31
Tel.022(215) 7787

株式会社大成ハウジング

代表取締役 佐々木良泰
(高第三十一回生)

仙台市若林区荒井五丁目十九番地の四
☎022(2287) 3326

ゆうファミリークリニック

院長 高橋裕一
(高第三十回生)

宮城県宮城郡利府町利府字新館二一五
☎022(766) 4141

㈱日専連ライフサービス

「ちょっといいながある」
あなたに身近な

日専連ゴールドカード
仙台市青葉区中央一-31-1
☎022(267) 9211